

## 分子生理学講座

---

差出人: h31ms-████@jikei.ac.jp  
送信日時: 2020年9月12日土曜日 21:05  
宛先: mol-phys@jikei.ac.jp  
件名: Re: 自然と生命の理 筆記試験結果 (98番 █████)

分類項目: 分類項目 赤

分子生理学講座 担当者様

期限 9/12 17:00 を過ぎてしまいましたが、記録のためお送りします。

>問題 1 の 1 に対するコメントは次の通りです：それくらいしか推測ができなかったとい  
>うこと  
>ですね。

問題自体も恣意的で解釈の幅がある作問で問題点が多いですが、このコメントも意味不明であり、そもそもこの問題が妥当性のある基準に基づいて採点されているとも思えず、評価として意味をなすものと思われません。

> 問題 1 の 2-わかることに対するコメントは次の通りです：力学的とはどのように？

力学的エネルギーと記述した記憶があるのでこれについてのコメントと思われませんが、これは「力学的エネルギー」という物理量であって、どのようなにもありません。文科省の定めた学習指導要領で定められており、中学校の理科にも出てきます。高校物理の範囲を習得しているものであれば「力学的」で切れて読むということが起こり得ると思えません。日本の高校で教えられている物理学とは異なる体系に基づいている問題だということでしょうか？

以上取り急ぎ 2 点、私がこの試験について疑問がないということはないということをご理解いただきたく存じます。

████

-----original message-----

98 番 █████ ███ 様

8 月 22 日に行われた試験を合わせたあなたの自然と生命の理の試験の結果は以下

の通  
りでした。

試験のあなたの得点は 200 点中 67 点でした。

また、講義のまとめの評価は 80 点中 65 点でした。

4 月に案内したように試験の評価を 60%、講義のまとめの評価を 40%として、合算  
する

とあなたの評価は 105 点となり、合格点に達しませんでした。

再試験は 10 月 3 日 14 時から大学 2 号館 803 会議室で実施します。

●問題 1 のあなたの点数は 68 点中 5 点でした。

問題 1 の 1 に対するコメントは次の通りです：それくらいしか推測ができなかった  
とい

うこと

ですね。

問題 1 の 2-演算に対するコメントは次の通りです：これはどのような演算なので  
しよ

う？

問題 1 の 2-わかることに対するコメントは次の通りです：力学的とはどのよう  
に？

問題 1 の 3-演算に対するコメントは次の通りです：無理なことは求めません。

問題 1 の 3-由来に対するコメントは次の通りです：散らばり方にどのように依存  
する

性質が

あるのでしょうか？

問題 1 の 4 に対するコメントは次の通りです：膠質浸透圧という用語を誤っている。

●問題 2 のあなたの点数は 72 点中 41 点でした。

問題 2 の 1 に対するコメントは次の通りです：大筋は理解されていると思いますが  
不正

確な記

述もあります。

問題 2 の 2 に対するコメントは次の通りです：概要は理解されています。

問題 2 の 3 に対するコメントは次の通りです：興奮収縮連関は、興奮（活動電位が  
発

生）して

から収縮するまでの過程のこととされています。その過程における相違点の記  
述が

あるとい

いですね。

●問題3のあなたの点数は60点中21点でした。

問題3の1に対するコメントは次の通りです：最終形は分母を二酸化炭素になるように

してく

ださい。 $\alpha$ についてポテンシャルの見地からコメントされているとよりよかったです。

平衡定

数の表式から、対数を取る過程を示してほしかった。また、 $\alpha$ についてポテンシ

ヤル

の見地からコメントされているとよりよかったです。

問題3の2に対するコメントは次の通りです：アニオンギャップの定義を復習して

くだ

さい。

問題3の3に対するコメントは次の通りです：ベースエクセスの意味をもう一度復

習し

てください。「平衡状態に戻す」という箇所は「正常のpHに戻す」が適切です。

この評価に疑問のある場合は9月12日17時までに mol-phys@jikei.ac.

jp に疑問点を連絡すること。

自然と生命の理

担当者一同